


黄柳野高校 PTA主催
保護者学習会

特性のある子どもたちの進路


～就労や連携について～

一般社団法人 こども発達支援研究会
機関研究員 鳥井 文
2024.6.16



本日の流れ

- ① 自己紹介・こはけんについて
- ② 進路を選ぶ前に
- ③ 就労について
- ④ 困ったときに頼れるところ
- ⑤ 事前質問返答&おわりに
- ⑥ その他ご質問



こども発達支援研究会

こども発達支援研究会

こはけんグループ総合サイト

TEL:045-285-9475
受付時間:平日9:00~17:00

お問い合わせ

コンテンツ | SNS | 最新投稿 | グループ

全ての人が輝ける共生社会を目指す

特性のある子どもを支える人たちが
共に学び・成長していくための場所




鳥井 文

こもれび進路相談室

- ◆ 元 公立中主任教諭(東京都)
- ◆ 知的障害特別支援学級(固定)
- ◆ 就学支援委員会担当
- ◆ 都内小学校 知的固定学級 支援員
- ◆ LD学会会員
- ◆ 専門分野:特別支援が必要な子どもの進学・就労
- ◇ 4歳娘を溺愛する母
- ◇ 趣味は情報収集とダンス
- ◇ 将来の夢:ギャル



②進路を選ぶ前に



子どもたちにどんなことを望んでいますか？

楽しく生きてほしい

やりたいことを見つけてほしい

もっと勉強してほしい

自立してほしい

大学に行ってほしい

普通の生活をしてほしい

マズローの五段階説とは

人間の欲求は5つの段階に分類されるとい、心理学者のアブラハム・マズローによって提唱された理論です。

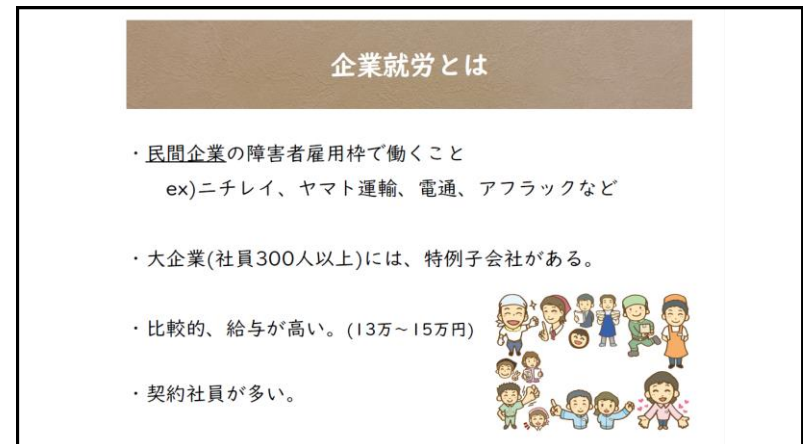
「人間は自己実現に向かって絶えず成長する」と仮定し、順を追って欲求の段階が上がっていくと考えられています。

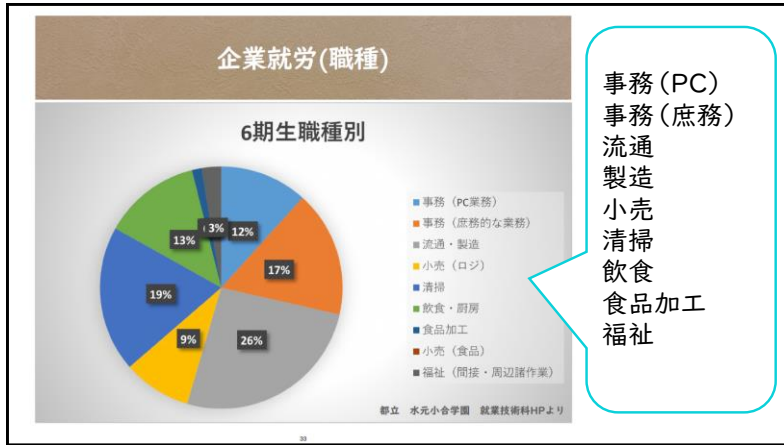


〇〇したい！と思えるまでに…

マズローの欲求5段階説







事務 (PC)
事務 (庶務)
流通
製造
小売
清掃
飲食
食品加工
福祉

「働く」の教科書

15人の先輩と
やりたい仕事を見つけよう!

2013年 中央法規 出版

働く楽しさ、伝えたい。
知的・発達障害のある人のハローワーク

【監修】 菊池一文
・国立特別支援教育研究所
教育情報部主任研究員
・現在は、弘前大学 教授

【編集】 全日本手をつなぐ育成会

障害者雇用じゃない就職はないの？

→ あります

オープン就労	クローズ就労
<ul style="list-style-type: none"> 自身の障害をオープンにした上で会社側がOKすれば一般入社と同じ扱いになる 自己理解、自身の障害を説明できる力が身につけていることが必要 お給料は新卒同様 合理的配慮は得られるかもしれないが、求められる仕事量は一般の人と同等。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害を一切打ち明けず、就職すること 配慮や理解を求めづらい お給料は新卒同様 できると思って当たり前仕事を割り振られる 短期間であれば選択肢の一つとしてあり (計画性は必要)

福祉的就労とは

就労支援施設などで
福祉サービスを受けながら働く働き方のこと。

就労継続支援A型	雇用契約あり 最低賃金	8万円
就労継続支援B型	雇用契約なし 工賃のみ	1.6万円

福祉的就労

令和4年度平均工賃（賃金）

施設種別	平均工賃(賃金)		施設数 (箇所)	令和3年度(参考)	
	月額	時間額		月額	時間額
就労継続支援 B型事業所 (対前年比)	17,031円 (103.2%)	243円 (104.3%)	15,354	16,507円	233円
就労継続支援 A型事業所 (対前年比)	83,551円 (102.3%)	947円 (102.3%)	4,196	81,645円	926円

厚生労働省

障害者就労支援対策の状況より引用

生活介護とは

- ・ 常時介助が必要な人が、障害者支援施設等において、日常生活（入浴・排泄・食事等）の介助を受けながら、創作的活動や生産活動の機会を得ること。

- ・ 入所か通所かは障がいの度合いによって決まる。



株式会社Social Plastik HPより引用

主な就労パターン

大きくわけて
3パターン

企業就労
福祉的就労
生活介護

障害者雇用枠

就労する準備


就労移行支援

就労移行支援とは

- ・ 障がいのある人が、一般企業に就労するための準備や訓練、職場定着するための福祉サービスのこと。
- ・ 訓練の内容は、基本的な生活習慣、コミュニケーションスキル、ビジネススキル(PC入力・書類作成・マナー等)などが一般的。
- ・ 利用には障害者手帳か受給者証が必要。
- ・ 利用料は自己負担。
- ・ 学校のように通うシステム。
- ・ 面接や履歴書作成のサポートもしてくれる。



知的発達支援研究会



新しい選択肢

—

21

新しい選択肢


福祉型カレッジ

- ・ 知的障害や発達障害の人が18歳以降に学べる場
必：療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・受給者証
- ・ 在籍は4年間 前半：自立訓練
 後半：就労訓練
- ・ 利用料は無料～所得に応じて
- ・ モラトリアム、人間関係
 居場所、恋愛相談、自己理解
 生活習慣、セルフアドボカシー



22

知的発達支援研究会



自立訓練事業所とは

—

自立した日常生活、又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練・生活等に関する相談・助言等を行います。

23

就労に必要なライフスキル

- ・ 朝、決まった時間に自分で起きる
- ・ 顔を洗う
- ・ 歯を磨く
- ・ 【男性】髭をそる
- ・ 【女性】化粧をする
- ・ 髪をセットする
- ・ 適切な服に着替える(靴・靴下も含む)
- ・ 家に鍵をかける
- ・ 乗り物を利用する(車の場合は運転する)
- ・ 遅刻をせずに職場に行く
- ・ タイムカードを押す
- ・ (場合によっては)適切な職場の衣服に着替える
- ・ 上司・同僚に挨拶をする
- ・ 昼食をとる
- ・ お昼休みに適切な休息(雑誌を読む、コーヒーを飲むなど)を取る
- ・ 仕事が終わった後にタイムカードを押す
- ・ 場合に応じて残業をする
- ・ 仕事が終わった後に「失礼します」とあいさつをする

24

就労に必要なライフスキル

- スーパーやコンビニで買い物をする
- ATMを利用する
- 帰宅したら手を洗う
- 夕食を取る(自炊の場合は料理を作る、食器を洗う)
- 入浴する(洗髪も含む)
- パジャマ等の部屋着に着替える
- テレビを見たり、音楽を聴いたり(ゲームや読書)余暇を楽しむ
- 寝る前に歯を磨く
- 適切な時間に就寝する。

25

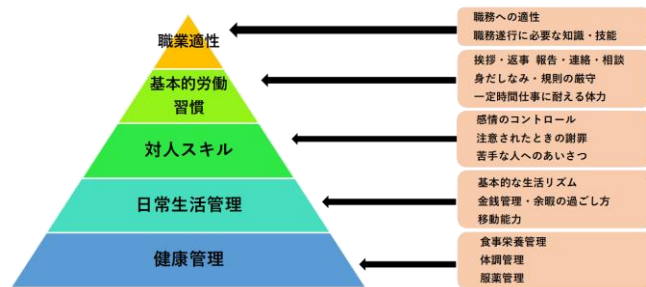
職業準備性ピラミッド

障害の有無にかかわらず、働く上で必要とされる基本的な能力を段階的に示したモデルです。

個人が就労に向けて、どのような準備やスキルを身に着けるべきかを明確にするため、特に障がい者雇用において重要な指標となっています。

一番下の層から順に備わっていなければ、持続的な就労が難しくなるとされています。

職業準備性ピラミッド



※ 下から積みあがる

考え方

✕
就労先が見つかる
就労できる
就職できた!

😊
就労継続
就労定着
安定して通う場所がある

→ 就労をゴールにしない。



図書出版 ベリかん社
「なるにはBooks」職業マップ

グレーゾーンのお子さんで進路の話をして
いると、「よくわかんない」「なんのために
勉強してるの？」という話がよく出ます。

これは、認知特性的に、「全体→細部」の
順に理解したいタイプに多いかな、と思い
ます。

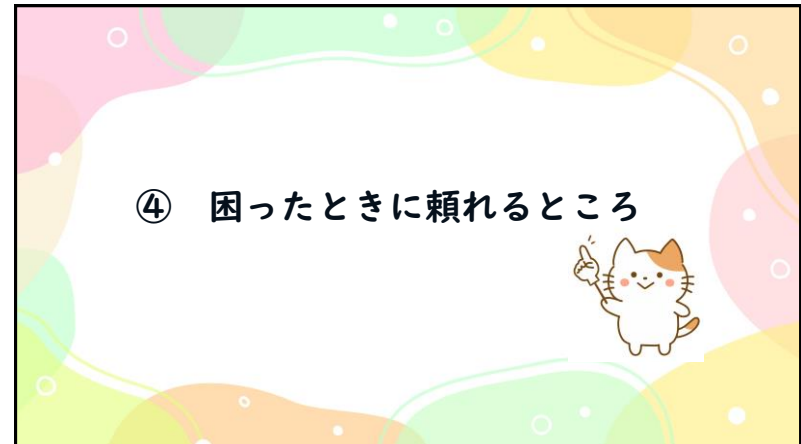
しかしながら、現在の学校教育は、「細部
→全体」という流れが多い。

全体像が知りたいのに、細部ばかり積み
重ねないと辿り着けない、こりゃしんどい。
私の体感ですが、グレーゾーンのお子さ
んは、このしんどいタイプが多い印象。

そんな子どもたちにとって、このマップはか
なり「一目瞭然」感があります。

こども発達支援研究会
オンラインスクール 鳥井投稿記事より

なるには Books 職業マップ 2023
興味があること、好きなこと、得意なこと、などから将来の夢(職業)を探してみよう!



進学・進路チャート

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	思ったときに 履かれるところ
私立	小学校						中学校			高校			18歳以降							
	通常級 オルタナティブ等						通常級 フリースクール オルタナティブ等 通信制			私立高校 通常級 定時制 通信制 + サポート校 高等専修学校			進学 大学 短大 専門学校 福祉型カレッジ				児童相談所 教育相談室 子ども家庭支援センター 当事者会 発達障害者支援センター			
公立	通常級 + 情緒過敏						通常級 + 情緒過敏 通信制 通訳指導教室			公立高校 全日制 定時制 通信制 + サポート校 高等専修学校			就職 クローズ オープン				発達障害者支援センター ハローワーク 障害者就労支援センター 就労移行支援 就労相談員 自立訓練事業所 生活介護			
	情緒固定 知的固定						情緒固定 知的固定			支援学校 就業技術科 聴覚開発科 普通科			障がい者就労 特例子会社 障がい者雇用 就労継続A 就労継続B							
支援学校	知的障害 重度重複																			
福祉 診療	療育手帳 精神障害者保健福祉手帳 児童精神科						成人判定			障害者年金申請				児童精神科医 精神科医 社労士 職の会						

2023年 鳥井作成

就労に関すること

就労移行支援事業所

ハローワーク
一般雇用窓口
障害者雇用専門窓口

障がい者就労支援センター

相談支援事業所
精神障害者保健福祉手帳
を所持していることで繋がれる

地域若者サポートステーション
15歳～49歳まで。仕事をしたい若者の
相談やサポート、各種訓練など

**障がい者者専門の
転職エージェント**

障害年金(その他お金)に関すること

精神科医師

18歳以降は児童精神科ではなく、精神科になる。引き継ぎを見越して今のうちから情報収集 **※初診日を記録!!**

自治体の障害福祉課

制度の概要を知る
受給要件、手続きの詳細

年金事務所

申請手続き、書類、詳細の問い合わせ

相談支援事業所


精神障害者保健福祉手帳
を所持していることで繋がれる

社労士

社会保険労務士。障害年金の申請書類の代筆をしてくれる。成功報酬型が多い。

**発達障害専門の
ファイナンシャルプランナー**

⑤ 事前質問にお答えします!



事前質問

特性と相性の良い、または相性の良くない就労・学習環境の具体的な組み合わせについてお話しが聞きたいです。

また、相性の良くない環境に身を置いている時の対処法、環境から離れる判断をするためのポイントがあれば知りたいです。

事前質問

進学・就職した後に続けられるのか心配です。

進学・就職後に子供のこういった様子に注意しなければならないのか、又は親としてこういったフォローの仕方をすればいいのか聞きたいです。

事前質問

進学や就学をするに当たって、事前に何をしたらいいのかどんな準備をしないといけないのかわかっていないのだが、事前にそれに向けて準備や話し合い、気持ちを聞こうとすると大丈夫とうるさがる。計画的に進ませたいのが、少し前になって焦りが見られ、そのうち諦めてしまう。どのように接していけばいいのかいつも迷います。

事前質問

進学予定の3年生の子供について相談です。現在に比べて通学時間が大幅にかかってしまいます。

通学時間がネックになり、学校へ行かなくなってしまうのではないかと心配しております。(本人は大丈夫と言っております。)通学が苦痛にならないような対策を教えてくださいたいです。よろしくお願い致します。

事前質問

以前より、うちの子供は自分の将来の事などに関しては興味がないのか特に自分で何かを調べたりあまりした事がないようです。学校探しなどに関しても一緒に探そうなどと試みますが、中々動かず結局今までも子供に合うのでは?と色々な選択肢を私達がしてきたように思います。勿論、最終決定(選択肢の中から)は本人がしますが、今後もこのような形での進学、就労選択をしていくのか?と少し不安な部分もあります。発達の特性なのか、性格なのか・高校以降の選択などは、手を出さず本人に任せ見守るべきなのでしょう? お時間があるようでしたら、アドバイスを頂ければと思います。よろしくお願いします。

事前質問

将来子供が就労できるように、今のうちから準備しておいた方がよいと考えられることがあれば、教えて頂きたいです

事前質問

勉強だけでなく自分で計画し実行することが苦手なようです。また、言われたことしか出来ず、意図が汲み取れません。聞かなければいけないこと(確認しないといけないこと)をなかなか自分から聞くことも苦手なようで、進学、就職、どちらにしても周りも本人も困るだろうと思うと、心配です。親として今からでも何かできる事はなにかありますか? また、そんな子が就職するとしたらどんな職種がおすすめてでしょうか?

事前質問

特性の公表と非公表のメリットとデメリット

⑤ おわりに・・・



自立に向けて…(いつかは)

- ・合理的配慮に関しても、今は保護者が説明していることを、今後は自分自身で説明していけるようにすることを目標に。
- セルフアドボカシー（自己権利擁護：障がいや困難のある当事者が、自分の利益や欲求、意思、権利を自ら主張すること）を子ども自身ができるように…
- ・自分への配慮も権利も大事だけど、提供をする側も人間。社会にいる人同士、気持ちよく過ごせるように相談するときの伝え方やタイミングなど工夫する。

本当の自立とは？

自己決定力
自分でできることとできないことを判断できる

相談力
 できないことについて他人の援助を求める

信州大学教授 児童精神科医 本田秀夫先生
 発達障害・不登校応援オンラインサミット研修より抜粋

いろいろ話したけど

- ・ちなみに、私の将来の夢やご褒美についてを最初に話しましたが、それはなぜかという、夢もしくは未来の目標というのは、働く意欲につながりやすいからです。子どもたちも同じです。
- ・働いて、お金を稼いで、何をするのか。生活だけでなく、自分のしたいこと、家族のためにしたいことなど、+αのところは実は大切なんです。「余暇スキル」があることは、就労継続につながります。
- ・日常の一コマ、ぼーっとする日常にこれらのヒントがたくさん隠れています。

いろいろ話したけど

- ・学習の定着やスキルの獲得には、実は「何もしないでぼーっとする」時間が必要という研究結果が出ています。
- ・脳には情報処理する時間が必要なんです。
- ・子ども時代の「思いっくままに遊ぶ」「ぼーっとする」「ただらだら過ごす」はとっても大切なことなんです。
- ・ぜひ、そんな時間も今後大切にしてみてください。

デフォルトモード
ネットワークで
検索♪



ご清聴いただき

ありがとうございました！



ご質問あれば、このあと、どうぞ♪

参考文献・引用

- 「働く」の教科書 2013年 中央法規 出版
- 【監修】 菊池一文 元国立特別支援教育研究所教育情報部主任研究員。現在は、弘前大学 教授 【編集】 全日本手をつなぐ育成会
- 厚生労働省「障がい者に対する就労支援」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaiishahukushi/service/shurou.html
- 厚生労働省「障がい者就労の現状」
- 厚生労働省「平均工賃(賃金)月額の実績について」
- 図書出版べりかん社「なるにはBooks」シリーズ 「職業マップ 第2版」「進学・進路マップ第2版」<http://www.perikansha.co.jp/download.html>
- 東京都立水元小合学園 卒業生の進路